

水戸第一高等学校 チャレンジ・プロジェクト全体概要（令和7年度）

事業名	概要・備考
文理・融合講座 （高1・中3）	融合・横断的な内容を含め、トップレベルの研究者から最先端の学術知を教授いただくことにより、文理分けの弊害を乗り越え、生徒の知的好奇心や課題発見・解決能力等を育むとともに、自分にあった進路選択やキャリア形成に資する。 →10月9日・11月20日開催。両日ともに、東京大学を中心に10名の世界トップレベルの研究者を講師に招聘。
米中派遣プログラム （高1・中3：希望者）	ITなどイノベーションの世界的拠点となっている米国西海岸と台湾に生徒を派遣し、世界で活躍するリーダー育成に資する。派遣者は、英語試験(TOEFL JR)のスコアで選考し、経済的困難だが優秀な成績を収めた者には、卒業生からの寄附による奨学金を重点的に支給。 →令和8年1月12日～18日（米）2月24日～28日（台）に各40名の生徒を派遣
東大探訪 （高1・中3）	東京大学に足を運び、大学教授からの特別講義、本校出身の学生との座談会、キャンパスの視察等を行うことにより、高い意識を持って学問に励み、希望進路を叶える一助とする。 →8月4日。加藤工学部長等の講義、OB座談会・キャンパス案内。中2は9月の国内研修旅行時に京大探訪を実施。
探究力向上セミナー （高2・中2）	問いの立て方や、リサーチ、執筆、プレゼンテーションのコツなど、実践的な知的生産の技術について、大学等の専門家から学ぶことにより、生徒の探究力を高める。 →4月17日。岡本尚也（東大客員上級研究員、『課題研究メソッド』著者）
知道プロジェクト発表会 （全：高2中心）	総合の時間等において進めてきた課題研究の集大成として、事前に校内で選ばれた高2生がプレゼンやポスター発表を実施し、中高全体の探究活動の活性化に資する。 →令和8年2月21日。ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催。講評者は、酒井聡樹先生（東北大）。
キャリア探究対話 （高2・中2）	様々な分野における社会のトップランナーをゲストに迎え、キャリア形成への道のりや仕事の醍醐味等について生徒と対話を行っていただき、生徒のキャリア形成やリーダーシップ育成に資する。 →12月11日、10名の講師を招へいし、55分×2回実施（生徒は2名の講師と対話）。
GRITセミナー （高3・中1）	非認知能力やメンタルヘルス等の専門家を迎えて実践的なレクチャーを行い、生徒のGRIT（Guts Resilience Initiative Tenacityの略：やりぬく力）を高める。 →第1回5月1日：滝沢龍先生（東大准教授、精神科医）第2回10月23日：葉一先生（教育系YouTuber）
心に火をつけるフォーラム （全）	世界で活躍されているトップリーダーを講師に迎えてご講演いただき、困難な課題への挑戦心を育むなど、生徒の心に火をつける。 →9月12日、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催。講師：平井一夫（元ソニー社長・CEO）
パブリックリーダースクール （全：希望者）	社会的課題の解決に向け第一線で活躍している方々からの講義や、政治・行政の中核である永田町・霞が関への訪問を行うことにより、SDGsを始めとする社会的課題や公的機関への理解を深めるとともに、公共の精神を備えたリーダーの育成を図る。 →8月6・7日に開催。講師：河野克俊（元自衛隊統合幕僚長）山口那津男（元公明党代表）清家篤（日本赤十字社長、元慶應義塾長）武田一義（漫画「ペリリュー」作者）

+ 4 学年活動

高3 + 中1

- ・ 最高 & 最小学年の組み合わせ。
- ・ 高3が学業・行事・部活をやり抜く姿に中1が学び、校風として継承。高3が身を正す契機にも。

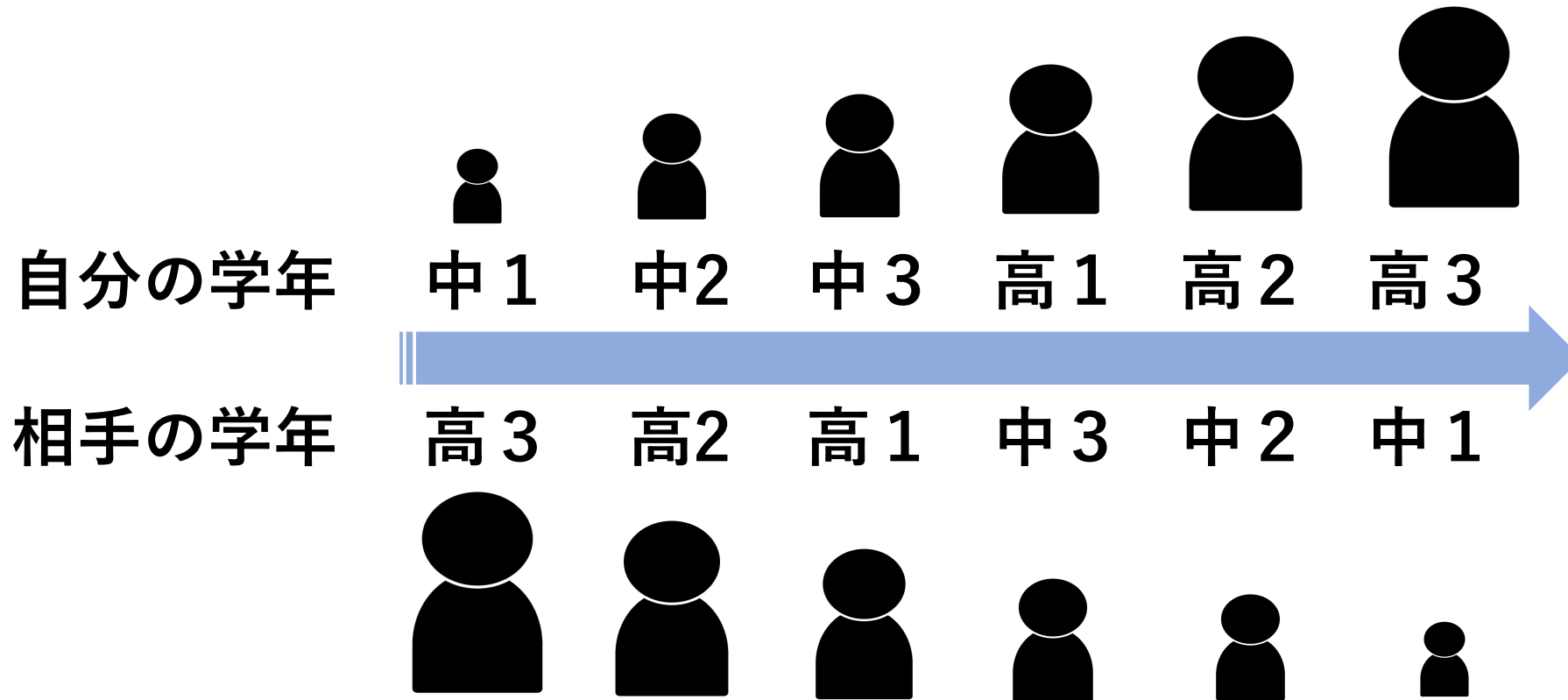
高2 + 中2

- ・ 中高それぞれの中心となるべき中間（ミドル）学年の組み合わせ。
- ・ 中だるみを排し、学問や自己への探究を深めるとともに、次年度最高学年を迎えるに当たり自覚を高める。

高1 + 中3

- ・ 中高にまたがった隣接学年の組み合わせ。
- ・ 発達段階の近さを活かし、多様な活動を協働して行いつつ、文理・進路選択に向けて視野を広げる。

+ 4 学年活動の流れ



- 6年間または3年間で毎年異なる中高の全学年と交流
- 自分が大きくなるにつれ、相手は小さくなる中、リーダーとして年々成長
- 毎年異なる学年との組み合わせで、多様な刺激を創出

+ 4 学年活動の具体例

高1 & 中3 : 文理・融合講座、米中派遣、東大探訪
高2 & 中2 : キャリア探究対話、探究力向上セミナー
高3 & 中1 : GRITセミナー

校舎のフロアも + 4 学年で配置

